

令和4年6月20日



しほり  
森づくり集団「葉」事務局通信 Vol.161号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】  
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2022.6.5 下富第2フィールド

サイハイランは、養分を光合成以外に菌類から得ています。

埼玉県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

【今月のお知らせ】

秋の観察会は、11月ころ神代植物公園を予定しています。

## 【今月の活動報告】

5月28日(土) あおぞら共和国ボランティア遠征

山梨県北杜市

参加者 / 畑

5月28日、田植え真最中で、水を張った田んぼに残雪の南アルプスが映る、北杜市白州に遠征し、認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークのレスパイト施設あおぞら共和国の草刈りに参加しました。

コロナ禍がまだ収束していない状況のため、多人数を集めてのボランティア・イベントは開催できず、地元メンバー中心の9名の有志だけでの日帰りでの活動となりました。少人数のため、約3000坪の広いロッジ敷地全体に対しての草刈りを、綿密な作業戦略に基づき、9時より15時の間に効率よく完了することを目指し開始しました。

戦略の一つは、ツール種別の作業場所の分担を行いました。刈払い機は、葉より借用したチップソーは石や障害物のない平坦な場所、2枚刃はクズなどツルの多い場所、ナイロンコードは石の多い場所に、手刈用鎌は建物の際と、分けて分担しました。2枚刃は柔らかく長い牧草用とのことですが、ツル性の高切りにも向いているようです。

戦略の二つ目は、刈る作業と集草作業を分け、午後の後半は全員で集草を一気に行いました。以前行っていたように作業初期から集草作業をいれると、後に再度集草が必要になったり、刈り放しでいいところまで集草したりが無駄が発生していました。機械の使えない参加者には前半は手狩りを行ってもらい、最後にまとめて全員で人目に付くところのみ集草しました。

これらの戦略が功を奏し、予定の3時より早い、2時頃にはロッジ敷地に加え、奥の森に行くアプローチ路を含む広範囲の草刈りと集草を終えることが出来ました。

昼休みと作業後には、いつものように地元より参加の皆さんからの自家製のピクルスや果物を味わいながら歓談し、コロナに負けず活動されている近況を交歓しました。ハイリスクの持病があり、この3年、顔を見ていない常連ボランティアメンバの話題などが中心となりました。

一部の方には、奥の森で安全対策を進めている、ツリーデッキも見学いただき、ネットなど単なる安全対策に加えて、新たに設置した樹種による木肌の違いを体感してもらえ手摺など見てもらいました。

今回の作業に参加されたベテラン・ボランティアからは10人以上で一緒に寝そべることのできる大型ハンモック（実はなだれ防止の試作ネット）を寄贈され、あおぞらの森に設置予定で、これも楽しみです。

今回はまだコロナ渦が収束しておらず、またタイミングも悪く、一人での参加となりましたが、秋のあおぞら共和国遠征（9/24、25予定）では、コロナも収束してグループでの合宿遠征ができることを期待しています。



写真1 外回り甲斐駒林道側



写真2 外回り市道側



写真3 あおぞらの森へのアプローチ



写真4 終了後の記念撮影



写真5 ツリーデッキの手すり



写真6 あおぞらの森に咲いていたギンリョウソウ

(担当 畑)

6月5日(日)

下富第3フィールド

参加者 / 豊島、中島、畑、坂本

活動担当者 / 緑川、土金

第3フィールドはアズマネザサが増えてきています。



里ネットの下刈機も加え、6人で下刈りを開始しました。



1時間半で刈り終わりました。



お昼に歓談しているとき、ヤマガラの話をしていたらヤマガラが飛んできました。(写真は豊島さんのブログをご覧ください。)



終了後、第2フィールドにサイハイランを見に行きました。

(担当 土金)

### 【次回の活動予定】

6月10日(日)は、第2フィールドの下刈りを行います。

集合は10時に第1フィールドです。

### 参加者募集のお知らせ

森づくり集団「<sup>しほり</sup>葉」は、毎月第1日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れを行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していますので、ご興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

### 【編集後記】



神代植物公園でタイサンボクの花に出会いました。

アメリカ東南部原産で明治時代に移入されました。

花が終わりに近かったせいか、芳香はありませんでした。

土金

森づくり集団「<sup>しほり</sup>葉」事務局

アドレス [info@mori-shiori.sakura.ne.jp](mailto:info@mori-shiori.sakura.ne.jp)

ホームページ <http://mori-shihori.a.la9.jp/>

事務局 緑川睦子